

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公開番号】特開2009-86117(P2009-86117A)

【公開日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-016

【出願番号】特願2007-253589(P2007-253589)

【国際特許分類】

G 02 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/1335 5 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光透過領域を有するサブ画素がマトリクス状に複数配列されて表示領域を構成する透過型液晶表示装置であって、

前記サブ画素の領域内には部分的に光反射層が形成され、該光反射層が設けられた領域と前記光透過領域はセルギャップが実質的に等しく設定されており、

非駆動状態において、複数の前記サブ画素の領域内に形成された前記光反射層によって、前記表示領域に所定の模様を構成した反射表示を行うことを特徴とする。

【請求項2】

前記光透過領域はノーマリーブラックモードで作動し、前記光反射領域はノーマリーホワイトモードで作動することを特徴とする請求項1に記載の透過型液晶表示装置。

【請求項3】

前記光反射領域は、前記表示領域の全てのサブ画素に形成されており、前記表示領域に表示させておきたい模様に対応するサブ画素以外の光反射領域はノーマリーブラックモードで作動することを特徴とする請求項2に記載の透過型液晶表示装置。

【請求項4】

前記光透過領域がノーマリーブラックモードで作動する透過型液晶表示装置は、垂直配向モード又は横方向電界モードで駆動されるものであることを特徴とする請求項2に記載の透過型液晶表示装置。

【請求項5】

前記透過型液晶表示装置を非駆動状態とした際に、前記表示領域に表示させておきたい模様に対応する前記サブ画素の光反射領域のカラーフィルタ層を除去したことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の透過型液晶表示装置。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか一項に記載の透過型液晶表示装置を備えたことを特徴とする電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明の透過型液晶表示装置は、光透過領域を有するサブ画素がマトリクス状に複数配列されて表示領域を構成する透過型液晶表示装置であって、前記サブ画素の領域内には部分的に光反射層が形成され、該光反射層が設けられた領域と前記光透過領域はセルギャップが実質的に等しく設定されており、非駆動状態において、複数の前記サブ画素の領域内に形成された前記光反射層によって、前記表示領域に所定の模様を構成した反射表示を行うことを特徴とする。